

2024年1月25日

第62回 関西財界セミナー 開催概要

公益社団法人 関西経済連合会
一般社団法人 関西経済同友会

第62回関西財界セミナーの開催概要につきましては、下記の通りと致しましたので、ご案内申し上げます。

記

1. 基本認識

時代は今、大きな変化のなかにあります。深刻化する気候変動問題への対応の加速が求められる一方、ロシアによるウクライナ侵攻や中東情勢悪化などにより、地政学的リスクがますます高まりを見せています。また、AIに象徴される最先端技術の急速な進展は、人類にとっての可能性を広げると同時に、いのちとは何かを問い直す契機を提示しています。国内に目を向けると、人口減少やGX・DXへの対応など、課題が山積している状況です。

こうしたなか、企業には株主との関わりだけでなく、顧客や従業員をはじめとする幅広いステークホルダーに対してどのような役割を果たすかが問われるとともに、経営において持続可能性や人的資本、経済安全保障という新たな視点を取り入れることが求められています。

このような認識のもと、「変化する時代、企業の役割～未来の視点から考える～」をテーマに第62回セミナーを開催します。地球規模・世界史的なレベルでの変化を未来の視点に立ってとらえ直すことで、進むべき道筋をつけて、今すぐに行動していく。そのために、経営者が向き合い、考えるべきテーマで6つの分科会を設け、皆さまと2日間の議論を尽くしたいと存じます。

2. 日 時 2024年2月8日(木)・9日(金)

3. 場 所 国立京都国際会館

4. テーマ 変化する時代、企業の役割～未来の視点から考える～

5. 主 催 (公社)関西経済連合会、(一社)関西経済同友会

6. 協 力 大阪商工会議所、京都商工会議所、神戸商工会議所
(公財)関西生産性本部、(一社)京都経済同友会、(一社)神戸経済同友会

7. 当日スケジュール(予定)

2/8 [第1日]	10:00~10:05	5分	開会(国歌斉唱)
	10:05~10:15	10分	開会挨拶(角元代表幹事)
	10:15~10:30	15分	主催者問題提起(松本会長)
	10:30~11:40	70分	基調講演 堂目 卓生 大阪大学 総長補佐、社会ソリューションセンター長、 大学院経済学研究科教授
	11:45~12:35	50分	昼 食
	12:40~14:40	120分	分科会討議(第1セッション)
	14:40~15:00	20分	休 憩
	15:00~17:00	120分	分科会討議(第2セッション)
	17:10~18:00	50分	交流会
2/9 [第2日]	09:00~10:40	100分	分科会討議(第3セッション)
	10:40~11:00	20分	休 憩
	11:00~12:20	80分	分科会討議(第4セッション)
	12:25~13:25	60分	昼 食
	13:30~14:10	40分	関西財界セミナー賞 2024 贈呈式
	14:20~15:20	60分	特別講演 松原 仁 東京大学 次世代知能科学研究センター教授、 (一社)情報処理学会 副会長
	15:30~16:00	30分	分科会議長・モデレーター報告
	16:00~16:10	10分	顧問団代表所感(川崎会頭)
	16:10~16:20	10分	主催者声明・閉会挨拶(宮部代表幹事)
	16:30~16:50	20分	主催者代表記者会見
	16:30~17:20	50分	懇親パーティ

8. タイムテーブルと各分科会の概要

(敬称略)

2月8日(木)

◆全体会議 [10:00～11:40]

(1)開 会

(2)開会挨拶 角 元 敬 治 (一社)関西経済同友会 代表幹事

(3)主催者問題提起 松 本 正 義 (公社)関西経済連合会 会長

(4)基調講演

講師:堂 目 卓 生 大阪大学

総長補佐、社会ソリューションイニシアティブ長、
大学院経済学研究科教授

演題:「目指すべき社会と経済を考える～アダム・スミスを起点として～」

◆昼 食 [11:45～12:35]

◆分科会討議 [12:40～17:00/2月9日(金)午前に続く]

第1分科会:マルチステークホルダー経営に支えられた新しい資本主義の実現に向けて

世界では、新自由主義的な資本主義における行き過ぎた部分を是正し、企業は多様なステークホルダーを意識した経営にシフトすべきであるとの議論が高まってきている。わが国においても「新しい資本主義」が掲げられるなか、企業はマルチステークホルダーといかに協創するべきか。日本のコーポレートガバナンス改革についても再考しつつ、今後の企業経営のあり方や投資家等との対話のあり方について議論する。

セッション構成:①資本主義をめぐる世界的な潮流と経営のあり方

②マルチステークホルダー資本主義をふまえたコーポレートガバナンス制度のあり方

③中長期的な企業価値向上と戦略的経営にむけた対話のあり方

議 長 今 井 雅 啓 伊藤忠商事(株) 専務理事
西 村 義 明 住友理工(株) 特別顧問

問題提起者 広 田 真 一 早稲田大学 商学大学院教授
スズキ ト モ 早稲田大学 商学大学院教授
中 空 麻 奈 BNP パリバ証券(株) グローバルマーケット統括本部 副会長

備考:関経連担当

第2分科会:GXを関西経済の成長につなげる

～未来の視点から、確実にやってくる変革のチャンスをとらえる～

社会の持続的成長を目指す視点から、GX がグローバルな投資と新たなイノベーションを加速させている。われわれは地球環境への配慮と関西経済の発展を両立させる“いのち輝く未来社会”の未来人の視点で今後の展望を見据え、関西が世界に先駆けてGXを達成するにはどうすべきかについて検討が必要ではないか。本分科会では、関西経済の成長エンジンとして、未来を切り拓くためにGXをチャンスにつなげる積極策について議論する。

- セッション構成:①2050 カーボンニュートラル達成を見据えたGX実現に向けての視点・取り組みの紹介・共有
②GXの実現をいかにしてビジネスチャンスにつなげていくか?
③GXを起点として関西の競争力を高める～関西がGX先進地域となるために～

議長 三笠 裕司 日本生命保険(相) 代表取締役副社長執行役員
牧 裕文 (株)日本政策投資銀行 常務執行役員 関西支店長

問題提起者 高村 ゆかり 東京大学 未来ビジョン研究センター教授
内田 有希昌 ポストン コンサルティング グループ 日本共同代表
巽 直樹 エネルギーアナリスト

備考:同友会担当

第3分科会:DXで築く関西

近年のデジタル技術の急速な進展とともに、世界各国がDXを推進し競争力を強化するなか、日本のDXは世界と比較し周回遅れと言われている。こうした背景をふまえ、関西経済連合会では、2022年に「関西DX戦略2025」を策定し、企業や地域が一体となったDX推進に向けた方策を示した。本戦略をふまえつつ、目まぐるしいスピードで変化する社会経済を的確にとらえ、企業・地域社会のDX推進に向けて取り組んでいく必要がある。本分科会では、関西がDX先進地域として飛躍・発展していくための具体的方策を議論する。

- セッション構成:①企業におけるDX推進の課題
②地域社会におけるDX推進の課題
③DX先進地域への道筋

議長 清水 弘之 (株)竹中工務店 常務執行役員
伊佐治 光男 アクセンチュア(株) 執行役員 西日本エリア統括責任者

問題提起者 森川 博之 東京大学大学院 工学系研究科教授
増田 睦子 (一社)行政情報システム研究所 調査普及部 主任研究員、
デジタル庁 リサーチユニット Head of Intelligence research 兼国際戦略担当
三日月 大造 滋賀県知事、関西広域連合長

備考:関経連担当

第4分科会:「人への投資」の目指すところ

経営環境の変化が加速するなか、生産性向上やイノベーション創出、新たな成長分野の開拓などを担う人材の育成や獲得が、個々の企業はもとより、わが国の成長に欠かせない課題となっている。改めて、人材への投資は未来に向けた投資だとの認識をもち、企業と働き手の双方がともに成長するための「人への投資」のさらなる強化が求められている。本分科会では、企業における人材戦略や人事施策、外部労働市場のあり方、働き手のキャリア自律やその支援方策について議論し、「人への投資」の目指すべき方向性を考える。

セッション構成:①なぜ「人への投資」なのか～社会の変化をふまえた参加者の認識合わせ～
②企業における「人への投資」の強化の方向性
③グローバルな人材獲得競争時代に求められる「人への投資」

議長 宮本 信之 関西電力(株) 執行役常務
柿原 アツ子 川崎重工業(株) 執行役員 マーケティング・渉外本部長

問題提起者 佐々木 勝 大阪大学大学院 経済学研究科教授
高倉 千春 高倉&Company(同) 共同代表
武田 洋子 (株)三菱総合研究所 執行役員兼研究理事 シンクタンク部門長

備考:関経連担当

第5分科会:出産・子育てしやすい日本へ～未来の視点から、日本社会を考える～

2022年の日本人出生数は過去最少の77万人を記録した。30年前(1.57ショック)に予測された未来そのまま、日本は深刻な少子化のなかにある。国立研究機関の推計によると、仮に2030年までに合計特殊出生率が2.07(人口置換水準)に回復しても、人口減少が収束するのは2090年である。なぜ少子化が進むのか?どんな社会なら子どもを産み育てたくなるのか?自治体、政府、そして企業自身が、今すぐ取り組むべきアクションを未来志向の視点から議論する。

セッション構成:①少子化の本質的な課題と影響
②子どもを産み育てたくなる社会とは
③明日から経済界・企業人、何する?何をやめる?

議長 上田 理恵子 (株)マザーネット 代表取締役社長
早乙女 実 (株)三菱UFJ銀行 取締役副頭取執行役員 西日本駐在

問題提起者 山崎 史郎 内閣官房参与(社会保障・人口問題)、
内閣官房全世代型社会保障構築本部総括事務局長
小崎 恭弘 大阪教育大学 教育学部教授
河合 雅司 (一社)人口減少対策総合研究所 理事長

備考:同友会担当

第6分科会:「いのち輝く未来社会」のために私たちは何をしますか？

1970年万博で、「人類の進歩と調和」による未来を夢見た私たちは、21世紀の今もなお、貧困や戦争、地球環境の破壊などで多くの“いのち”が輝くことなく消え去る現実を目の当たりにしている。“いのち”が“輝く”とは、どのような姿で、私たちは今からどうすれば実現できるのか。大阪・関西万博や、今後、検討が始まるポストSDGsも視野に、「いのち輝く未来社会」の実現に向けて、企業、経済人である私たちが何をすべきか議論する。

- セッション構成:①未来の視点に立ち、いのち輝く社会の姿を考える
②「いのち輝く未来社会」における新しい企業の姿とは
③「いのち輝く未来社会」に向けて企業・経済人が取り組むべきこと

モデレーター 高橋朋幸 (株)三菱総合研究所 執行役員 事業基盤部門長兼営業本部長
上野信子 ジャトー(株) 顧問

意見発表者 大竹裕之 (公財)未来工学研究所 主任研究員
水野弘之 (株)日立製作所
研究開発グループ基礎研究センター主管研究長 兼 日立京大ラボ長
熊野英介 アミタホールディングス(株) 代表取締役会長兼 CVO

備考:同友会担当

◆交流会 [17:10~18:00]

2月9日(金)

◆分科会討議 [9:00~12:20 / 2月8日(木)から継続]

◆昼食 [12:25~13:25]

◆全体会議 [13:30~16:20]

(1)関西財界セミナー賞 2024 贈呈式

(2)特別講演 講師:松原 仁

東京大学 次世代知能科学研究センター教授、

(一社)情報処理学会 副会長

演題:「AIに心は宿るのか~人智を超える研究の最先端~」

(3)分科会議長・モデレーター報告

(4)顧問団代表所感 川崎博也 神戸商工会議所 会頭

(5)主催者声明・閉会挨拶 宮部義幸 (一社)関西経済同友会 代表幹事

◆懇親パーティ [16:30~17:20]

(並行して、主催団体トップによる記者会見)

以上